

新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部
(新型インフルエンザ等対策本部)
知事メッセージ

令和3年7月12日
青森県危機対策本部

新型コロナウイルス感染症に係る対応について

青森県内の最近の感染状況は、県民の皆様方の御協力もあり、一時期より落ち着きを見せてきました。

その一方で、政府は、東京都等で新規感染者数が増加し、感染の再拡大が強く懸念されること等を踏まえ、8月22日まで、東京都及び沖縄県を対象とした緊急事態措置と、埼玉県、千葉県、神奈川県及び大阪府を対象としたまん延防止等重点措置を実施することとしました。また、本県でもN501Y変異株の発生割合や感染経路不明の案件が増加しており、6月以降も複数のクラスターが発生するなど、引き続き、県内においても気を緩めることなく警戒が必要な状況です。

県民の皆様方におかれましては、

- 感染症患者が多数発生している県外地域への移動については慎重な判断をし、特に、緊急事態措置及びまん延防止等重点措置の実施区域との不要不急の往来を控えること
- どうしても移動する必要がある場合は、移動後2週間程度、不要な外出を控え、人との接触を最小限にとどめることをお願いします。

したがいまして、緊急事態措置等が前倒しで終了しない限り、当該実施区域にお住まいの方におかれましては、夏休みやお盆におけ

る本県への帰省や旅行等を控えていただくこととなります。大型連休期間に引き続き、そして2年続けてとなり、私としては大変心苦しく、心待ちにしていた皆様方には大変申し訳ありませんが、何とぞ御理解と御協力をお願いいたします。

また、県内における日常生活でも油断することなく、次の点に特に留意してください。

県内では、これまでも、症状があるのに普段の生活を続け、感染が拡大した事例が多く発生しています。

風邪症状などがある時は「休みを取る・取らせる」ことを徹底してください。家庭や職場、学校等でも、改めて注意喚起をお願いします。

職場や地域の行事・集まり、趣味の場などでも、会食や会話の際のマスク着用、換気等の対策が不十分な場合に感染が広がっています。

変異株でも感染防止対策は同じです。マスクの適切な着用、人との距離の確保、こまめな手洗いや換気を、これまで以上に徹底しましょう。

「普段一緒にいる人」とは、家庭や職場、学校等で毎日のように生活や仕事などの行動を一緒にしている人で、それ以外の「普段一緒にいない人」との会食・会合等は、感染リスクが高まるので、できるだけ控えましょう。

イベントやスポーツの大会・試合等で感染を拡大させないために、

主催者等は、感染防止対策を徹底し、参加者全員に決められたルール等を遵守させてください。また、観戦する方は、人との距離を取り、静かに応援しましょう。

県内旅行を実施する場合には、「普段一緒にいる人」とできるだけ少人数で、マスク着用などの基本的な感染防止対策や施設等が定めるルール等の遵守を徹底し、感染防止に最大限努めてください。

これから夏休みシーズンの到来ということで、普段であれば活動的で賑やかになる季節ですが、今年の夏も県民の皆様方と力を一つにして、何としても感染再拡大を回避しなければなりません。

お一人お一人がお互いを守り合う気持ちで、引き続き、慎重な行動と感染防止対策の徹底に御理解と御協力をお願い申し上げます。